

[No. 4] 図1に示す異常検知範囲をもつ図2のバキューム・センサ (IC) を用いた回路の異常検知に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

図1

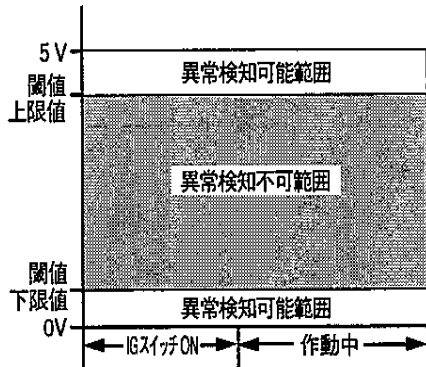
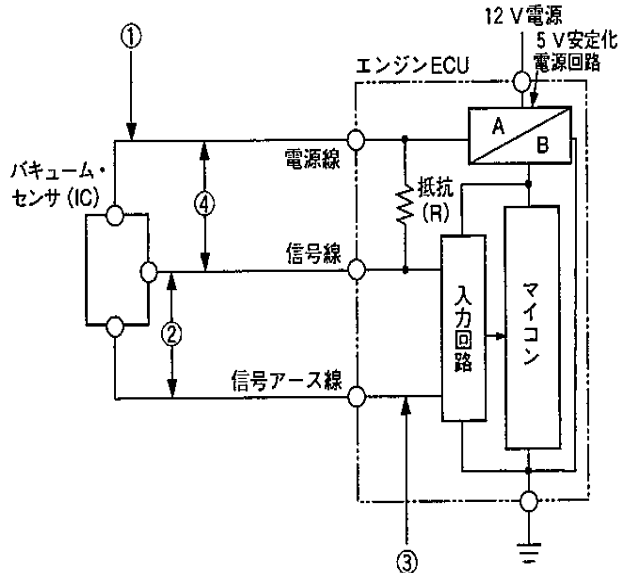


図2



- (1) ①の箇所で断線があるときは、入力回路には5V安定化電源回路から抵抗 (R) を経由した電圧が入力され、マイコンは上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。
- (2) ②の箇所で線間に短絡があるときは、入力回路に0Vが入力されるため、マイコンは下限値の閾値をダウン・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。
- (3) ③の箇所で断線があるときは、入力回路には5V安定化電源回路から抵抗 (R) を経由した電圧が入力され、マイコンは上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。
- (4) ④の箇所で線間に短絡があるときは、入力回路に0Vが入力されるため、マイコンは下限値の閾値をダウン・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。

答 (4)

④の箇所で線間に短絡があるときは、5V安定化電源回路からの電圧が入力されるため、上限値の閾値をアップ・エッジする信号電圧を検出して異常検知を行う。